




使うたび、実感。
小ロット・コンタミ対応でロス米激減
D C M型精米機のご提案

東洋ライス 株式会社



現在の精米機に求められる要件

- ① コンタミ対応の精米機であること
- ② 小ロット・多品種の精米ができること
- ③ ロス米・ロスタイムが少ないこと
- ④ 高品質で高歩留の精米ができること
- ⑤ 消費電力が少ないこと



トヨースナイ精米機 DCM型の特徴

1. コンタミ対応の精米機なので、投入した玄米を全て製品に仕上げます。機内に米が残りません。
2. 時間当たりの精米能力（MAX）が4.5トン、3.6トン、1.5トン、1.2トン、0.9トンの5タイプがあります。
3. 最小精米ロットは、4.5トンタイプ（DCM-75S）で300kg、1.5トンタイプ（DCM-25）で60kg、0.9トンタイプ（DCM-15）で30kgなので、多品種・小ロットの精米に適しています。
※DCM-75S、25タイプは上記数量より少ないロットで加工することも可能です。
4. 投入玄米を全て製品に仕上げるので、従来機に比べロス米がなく歩留りが高くなり、コストダウンが図れます。
5. トヨー独自の「への字型精米ロール」で、玄米ブレンドもムラ搗きがなく、ヌカ切れの良い精米ができます。
6. 「への字型精米ロール」と「コントロール精米機能」で、安定した精米のオペレーションが容易です。

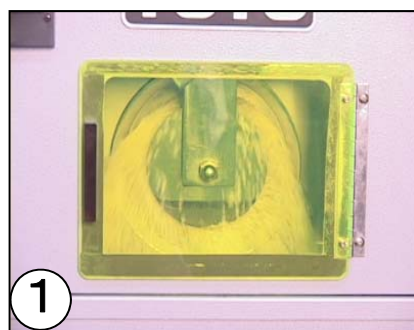
コンタミ対応について



DCM-75S型

- ◆投入された玄米は、全て製品に仕上がります。
 - ◆毎ロットごとに、「残留米排出機能」により、機内の米を全量製品として排出します。
- ※機外排出の必要がありません。

＜残留米が排出する様子＞



①
最後まで、均一したムラのない精米に仕上がる



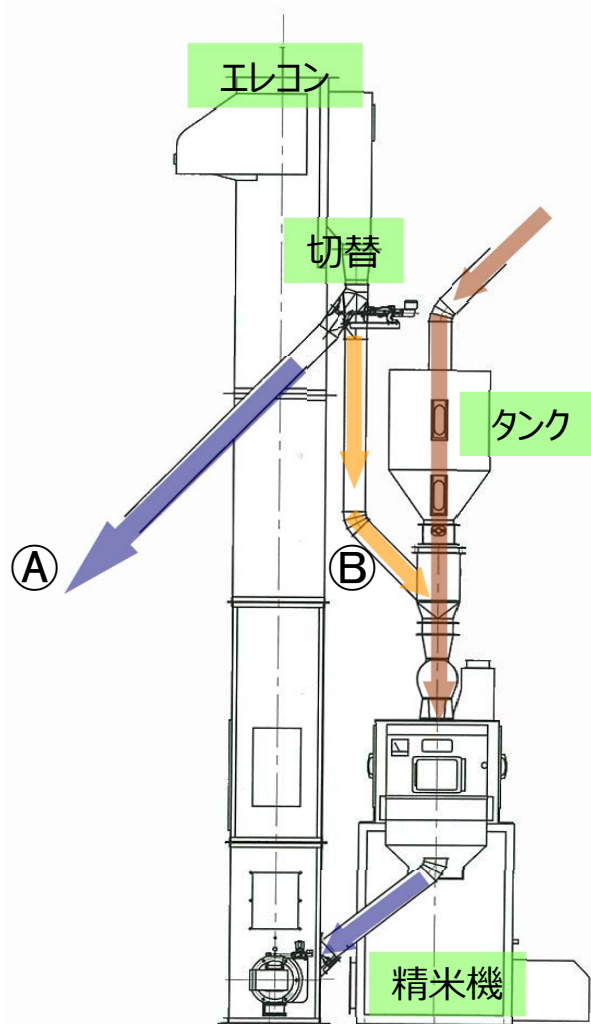
②
最終工程で残った米をエアーで排出する



③
機内に米がなくなり、次のロットの米と混ざらない

※上記写真はDCM-75タイプです

コンタミ精米機 D C M 型のフローチャート



- ① タンクに玄米を投入する
- ② 精米機を起動する
- ③ 自動的に切替方向②へ初期リターンする
- ④ 一定時間後、切替方向が自動的に①になり製品が流れる。
- ⑤ 最終段階になると、切替方向が自動的に②になり、精米機の中の米を押し出す。
- ⑥ 切替方向が①となり、最終製品が流れる。
- ⑦ 精米内部の残米がエアで自動排出する。
- ⑧ 排出終了後、自動停止する。

トーヨーロスナイ精米機仕様一覧

型式	DCM-15	DCM-20	DCM-25	DCM-60S	DCM-75S
能力(MAX)	0.9t/h	1.2t/h	1.5t/h	3.6t/h	4.5t/h
所要動力	11.0kw	15.0kw	18.5kw	45kw+ 1.9kw	55kw+ 1.9kw
寸法 (幅×奥行×高さ)	600mm×1,210mm×1,580mm			1,185mm×2,101mm×1,615mm	

他の精米機に比べ所要動力が低く消費エネルギーが少ないのが「トーヨーロスナイ精米機」の特徴です。

※大型機のDCM-75Sでも、玄米1tあたりの消費エネルギーは12.64kw

トーヨー独自の「自動圧力機構」とへの字ロールにより搗精度の一貫性を保つ事が可能。高度なオペレーションは不要で、高品質・高歩留な精米を実現しています。